



通報したのに 出動が遅れて……！ - 西日本防災システム

2015 05 12

横浜市消防局の発表によりますと、5月11日、港北区鳥山町のアパートで発生した火災で、出火元女性の119番通報を火災と認識できず、14分後の近隣住民の通報で火災と判明し、出動指令したようです。出火元はアパート2階に住む60歳の女性方で、2階から1人の遺体が見つかったそうです。遺体はこの通報をした女性の可能性が高いとみて身元の確認を急いでいるようです。11日午前8時46分、男性指令管制員が女性からの119番通報を受け、管制員は最初に「火事ですか、救急車ですか」と問いかけたが、はっきりと聞き取れずに「救急ですか」と尋ねると女性は「はい」と返事したそうです。女性から住所と年齢を確認した上で、管制員は「どうしました」と質問したところ、「はじになっちゃった」と答えたように聞こえたそうです。何度か聞き返した際に、「はじです」と答えため「ハチ(蜂)ですか?」と尋ねると、女性は「はい」と答えたそうです。「救急車は必要ですか」と聞くと「いらない」と返事があり、重ねて確認しても「はい」と答え、電話が切れたそうです。これらを踏まえ、管制員は救急車の出動指令も出さなかったそうです。女性の通報から14分経過した午前9時頃、このアパートの近隣住民から同時に複数の119番通報があり、火災と判明したようです。消防車は9時8分に現場に到着したようです。この火災で、木造2階建て約200㎡を全焼し、隣接する空き家約120㎡のうち、約60㎡を焼いたようです。女性は1人暮らしで、アパートには女性ほか2世帯が入居していますが、出火当時は留守だったようです。辛いです！ご冥福をお祈り致します。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 